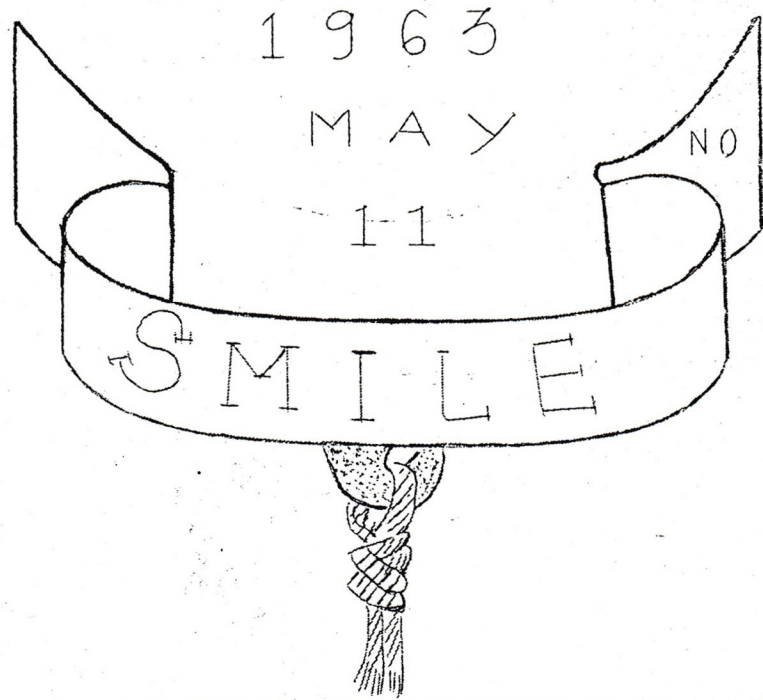


日本ボーイスカウト

東京才4団 機関紙



東京をきれいにする運動

今田 富士雄

昨年十一月、私たちの所屬する東京連盟では東京都の美化運動に協力して「東京をきれいにする運動」を初めました。十一月九日、文京公会堂で推進大会を開き、都知事を迎え、決意を示し、一人一人が協力を誓い、奮起されました。一月六日にはきれいにする運動を看板にして新巻パレードが行われ、五千人のスカウトが飯田少年隊と長の先陣で銀座を行進しました。行進に先づいて、巨大なボウキとチリトリを東京都に贈り、一般市民にも趣旨の徹底と協力を呼びかけました。二月いっぱいには強靱月間として各隊で色々な行事を行い、一人のスカウトが十人の市民に引きかければ、十万人が運動に協力してくれぬことになりす。私たちスカウトは野島に行っても野島地には感謝のみを致すという気持ちで清掃の余り目立たないまらに行ないました。今度の運動は市民への引きかけが主になりますから、目立った事をやる必要がありません。

毎月十日は首都美化デーですが二月には銀座の街頭でマツケをくばり、愛柱のボスターをばがす運動をしました。どんな事をしたらよいかもお互いに考えましよう。そしてオリンピックを来年に控え、みんなが東京を美しくするよう努力しましょう。

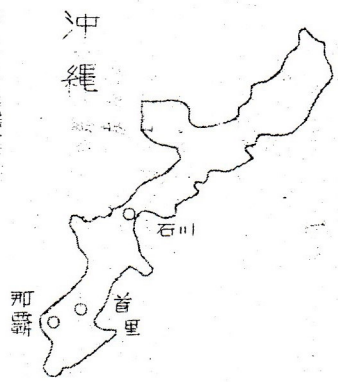
沖繩を訪問して

年少隊長 杉原 正

ガールスカウトを舎めると七十八名、大阪を主体として教会に属するスカウトの沖繩視察訪問団で、才田團からは、金森、小林(昭)、乃石、内口、渡辺、塩崎、増田として私の八名が参加しました。三月十九日に東京を出発し、約三週間の目標を訪問し、その間、戦跡めぐり(ひめゆりの塔、慥児の塔など)、米軍基地見学、関係者によるレゾリューション、教会、そして沖繩、米團スカウトとの交歓、サウナパーティ、米人家庭での分宿など短い期間に様々な体験をし、この沖繩訪問を通じて偉大な事をのべてみます。

大阪を主体として、教会に連なる指導者スカウトと交り深くなることのできたこととです。沖繩訪問期間中、技能についてはどうやらやってきたようですが、しかし、教会スカウトとしての在り方、考之方、心構えについては、大阪の方から学ぶ点が多くあり、反省させられたことです。私は、スカウトを通じて一人一人が神様の証人であり、スカウティングがキリスト教に由来するものではないという強い信仰にふれたいこと、十七年の歩みを続けていく才田団は、このことについて全体で考之、夏のネツカパーティをするのにふさわしい団として成長

することをかかると努力したいと思っております。乗家へ頼むべからず、沖繩の方から聞いた話より、沖繩へ感じたことは、一般に経済的に苦しく、政治的にむずかしい立場におかれていますこととです。日本と米團の關係が根本的に解決されないうちは、この問題は未だかかるといふことはさげすみなく、私達が船につけていった日の丸について、同じ日本にくるのK日の丸をつけたことと沖繩の才田はいい、初級市の国際通りでの国旗パレード、戦跡めぐり、国歌の斉唱に感激し、常に日本への復帰を心から願っている沖繩の方々に感じ、同じ日本人として沖繩についてみえながら明心をよせ、考之、努力すること、が心算であると感じております。



袖戸からの出航した船の中で、色々おぼろしい由緒から中止になると思われたいこの訪問が、実施することができ、その感謝

の支持をどんな形で現すか考之、日本(本土)へ強いおこがれをもつ沖繩の同じ年代の子供を招こうと、祈りのうちに、美しい限られた二五ドルの小遣いからスカウト達に二五ドルも初穂(基金)として献金し、今夏までに沖繩の子供を招くことが決定し、実施の方法を考之られ、東京にも準備をしております。沖繩は海と空が非常に美しく、そこに住む人々は優しく、心は豊か、私色々なことと親切にこれ、学ぶことが多くありました。

指導者、スカウトとして個人として立派、秀れたい、組織の中、涅槃させられた中に入って、自分を生かすことが、いかにむずかしく、それをしてなければ、本当のものはないと、自分自身を反省しながら努力し、今後に備えたいと思っております。沖繩のお友達を招くことができたこと、沖繩の三つの教会にスカウトがでるようになったこと、沖繩の栄光をにぎる米軍政府の方々に、ワリスキャンスカウトを通じて、スカウト、日本人を改めて認識させたことなど色々な成果はあったと思えますが、本当の成果は、今後どうしよう自分、班に、隊に、団に、スカウト全体に、團りの人々にいかしてゆくことが私達参加した団員に与えられた課題であると信じています。



田バスピクニック

今年度のバスピクニックはガールスカウト主催で計画が進められ三月末より計画を始めたという短期間にもかかわらず立派に五月三日に出来たことについてまづ係の皆様に感謝します。三日は運休の為混むことを予想して朝七時半出発したにもかかわらず乗道は大変混雑し予定時間が大分変化しました。でも大変良い天受に恵まれ二二の程の大人数を参加しました。十二班に別れて三台のバスで一路真鶴岬へと進みました。五甲ローバーやレニジャーの指導で楽しいゲームや歌と共に春の陽を反射してキラキラ光る海やみかん畑を見ながら真鶴岬へ十二時前に着き玉石の浜で各班ごとに行当を揃えました。真鶴岬は海と岩と原生林が美しい所で午後一時まで石投げをしたり朝に足をひたしながら楽しんでました。帰路茅ヶ崎の浜にバスを止めるところで約一時前後ごました。カブは海に入って服をぬらしたり大変なごめごめや足は腫れ公算をされました。ここでの見物は安藤さんをホスとする年長隊メンバー約十五名が白神先生を交えた青年隊メンバー八名の面々でタツチフットでこの試合は対力の大差で年長隊の勝利に終りました。ここで皆で記念撮映をしてから兩半教会にカブとして来ました。

その後の反省会では、皆で集まって集金を持ちだした。ゲームやソングの下準備がたりなかった。等の意見をだされました。来年はもう少し早目に計画を

はじめの心算を感ずました。

二ユース

救急法講習会が日本赤十字の栗木先生御指導のもとに五月の十八、十九、廿五、廿六日の四日間少年隊と合員の為に開かれます。

五十野和男君(2)を紹介しします。芦屋や二団でカブからスカウトをして来た人で現在早稲田大学法文学部二年生。趣味は切手と登山で切手はB8切手を主に集めていられるそうです。

三月七日美化運動報告会が東洋大学の南から席上、十四回の年長隊と少年隊が美化運動に協力した事を感謝と此感謝状をいただきました。名譽なことです。

一地区区青年会が毎月第一週火曜日と靈南坂教会で行われるそうです。六時からですの青年隊の人達は出席すると良いでしょう。

教会だより

今まで京都から依真師として靈南坂教会に来て活躍して下さった、平松先生は京都へお帰りになりましたの、今度新として白神堂道先生が後任としていらっしゃいます。先生は生れから廿七才の今日までずっと、急教に任んで居られたそうで三月のバスピクニックの時初めて富士山を見たと言っています。一回見て大変気分のよいフアイト満々の人です。Bと教会学校との交りを強くして行く為努力して下さるとのお願いを私達も協力しましょう。

趣味は何でもやるのが趣味だそうでバスピクニックの時シニアとローバートのタツチフットの試合で一人制服を着ていないで走り回っていた人だと云えば教会学校に求めている人エピンと来ると思っています。

今月の教会の行事

少年隊では五月廿六日曜の一泊キャンプの時、教会学校小学校と中学校の先生方と協力して今まで教会に出席してこなかったスカウトを出席するよう勧めようの計画を考えています。

私達四団のスカウトの活動は五匹だけではなく日曜日の教会学校出席が大切なことをもう一度考えましょう。

二ユース

行事報告

団全体

一月六日 新年日の九大行進、今年は

都美化運動會の爲のパレードを兼ねて

行なわれた。B.C.参加五千名

二月十九日 「東京をこまりにする運動」

奉仕の銀座料にてツチくばりをする。

二月廿三日 十六週年記念式典が行われ

ました。当日沖繩放送団放送とアジ

アジアンボリーの映画が上映されました。

三月十九日 沖繩放送団出発、初原、金

森、小林昭、方石、朝口、渡辺、臨

五月三日 沖繩放送団出発、

五月二日 ハスレグニツク(前記)

少年隊

十二月廿七日 ハイキング練馬区

廿九日 教会掃除

一月五日 新年会B.C.と合同で行う。

二月廿三日 誕生日祝会及祖父又會。

三月廿一日 NHKテレビ音の歌壇映

の爲身が崎へ。

四月廿日 都美化の爲「何れか道にタバコ

をすくつかの調査、虎の門から青山大丁目

までの通車道の間に片側をけこ四三三本

五月 五月に運動主任団体報告する。

五月 グリナーの編成なる。

五月 熊取長北原、以長針管、タカ野長百

原、以長金森、ライオン部長長 藤崎次長佐

藤、鹿野部長増田次長川田、又今まの

上級部長だった片岡君の休職の爲は第一

君が新と任命されました。

年長隊

一月五日 新年会

一月十四日より十五日沖繩放送スカウト(

万石 関口、渡辺)訓練キヤンプ(総教台長)

二月二日より三日 年隊とわし 艦の艦キヤ

ンプ(於教会にて合宿)

二月九日 父兄会及祖父兄とスカウトの

懇談会、

三月二日 餅打購入、訓練用に、

三月十六日 沖繩放送スカウト激初会

三月廿三日 日やくら組訓練

三月廿日 羊肉バーベキューパーティー

四月六日 沖繩放送団報告会

四月廿日 駐の新編成なる。草(万石艦

長)わし 艦(関口艦長) 龜島(遠近艦

長)誕生

四月廿八日より廿九日 わし艦一泊キヤン

プ返りにて。

五月四日 暫為キヤンプ 教会にて

技能章 水泳章(遠近、万石)

スキー章(音藤)

家庭看護章(音藤、戸田)

カブ

○人串

○月輪三組かえ、七組五十四名となる。

○新任副長補として古矢さん(カブ三期生)、

隊付には音藤、音藤、戸田さんが奉仕される。

○行事

○大周年交際を六月一日に予定

○夏期合宿キヤンには七月二十一日から四日まで三

泊留の西野、ス、ホステルに予定。

○東京日本連誼會

編集後記

挨拶をえうのがばおかしい位、ごんごん

たしておりました。毎月一刊がモットー

なかに、月号より更に五ヶ月目とえうわけ

です。今度団より毎月補助が出るようになり、

の様に印刷屋さんにお頼い出来るようにな

りましたから、これからのスマイルは次々こ

とばを予想しながら、宛先料とえう技術はい

らなくはりました。毎月スマイルの係がう

るさく原稿をお頼いするでしようが、これ

出れまろしくたのみます。

今年はやたうと大きく育った、花畑の充実

の年です。皆様今後一そう努力して素晴らしい

団にして行こうとはありませんか。

編集 小林昭、大塚、柳

スマイル五月号

昭和廿八年五月十一日発行

発行人 田中 正男

編集 田中 正男

発行所 スマイル 係

東京都港区赤坂

壱南坂町十 四

壱南坂教会内

日本ボーイスカウト

東京本部 四 団

東京本部 四 団